

太鼓の祭典



第 33 回国民文化祭・おおいた 2018

第 18 回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会



【日 時】 2018 年 **10月14日(日)** 【開場】 9:00
【開演】 10:00 【終演】 17:30 予定

【会 場】 **J:COM ホルトホール大分**

〒870-0839 大分県大分市金池南一丁目5番1号

主 催：文化庁／厚生労働省／大分県／大分県教育委員会／大分市／大分市教育委員会／
第 33 回国民文化祭大分県実行委員会、第 18 回全国障害者芸術・文化祭実行委員会／
第 33 回国民文化祭、第 18 回全国障害者芸術・文化祭大分市実行委員会／



主 管：全九州太鼓連合／日本太鼓財団大分県支部／大分県太鼓連合

特別協力：Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION



ご挨拶

文部科学大臣

柴山昌彦

「第33回国民文化祭・おおいた2018」が、平成30年10月6日から11月25日までの51日間にわたり、「おおいた大茶会」のテーマのもと、大分県内各地において盛大に開催されます。

国民文化祭は、日本各地で行われている様々な文化芸術活動を全国的規模で発表、競演、交流することにより、文化活動への参加の気運を高め、新しい芸術文化の創造を促すことを目的として、昭和61年度から毎年、各都道府県で開催しています。

豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、実り豊かな「豊の国」と称される大分県では、古くから県北東部の国東半島を中心に、「六郷満山」と呼ばれる神仏習合の山岳宗教文化が栄え、今日まで受け継がれています。また、中世の時代には南蛮貿易を通じて諸外国の文化を積極的に取り入れるなど、多様な文化を受け入れる土壌が育まれてきました。

「国民文化祭・おおいた2018」は、「街にあふれ、道にあふれる、県民総参加のお祭り」、「新しい出会い、新たな発見～伝統文化と現代アート、異分野コラボ～」、「地域をつくり、人を育てる」の基本方針のもと、大分県内の全18市町村において「全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」と一体的に開催されます。両大会の一体開催を通じて、あらゆる人々が芸術文化に親しむことのできる共生社会の実現に向け、一層の芸術活動の充実が図られることを期待します。

2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されますが、文化芸術が生み出す社会への波及効果を生かして、諸課題を乗り越え、成熟社会に適した新たな社会モデルの構築につなげていくまたとない機会と考えます。これを契機とし、「文化芸術立国」の姿を創出していくために、文部科学省では文化プログラムの全国展開に取り組むとともに、様々な文化資源を活用しながら、伝統文化から現代芸術まで幅広い文化による国づくりをオールジャパンで推進してまいります。

結びに、開催に当たり格別の御尽力を頂きました大分県、開催市町村、文化団体をはじめ、関係する全ての皆様に深く感謝申し上げます。

太鼓の祭典



ご挨拶

厚生労働大臣

根本 匠

「第33回国民文化祭・おおいた2018」「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」の開催に当たり、主催者の一人として御挨拶を申し上げます。

全国障害者芸術・文化祭は、障害のある方々が芸術・文化活動を通じて自己を表現し、生活を豊かにするとともに、国民の障害への理解を深めることにより、障害のある方々の自立と社会参加の促進に寄与することを目的としています。

昨年に引き続き、国民文化祭と一体で開催することで、障害のある方々のみならず、すべての人がお互いを尊重しながら共生する社会の実現につながると期待しています。

本大会は、「おおいた大茶会」をテーマに、子どもからお年寄りまで、障害のある方もない方も、誰もが参加して楽しむことができる文化のお祭りとして、約2か月にわたり開催されます。このうち、「障がい者アート事業」では、大分県内の全市町村において、障害のある方の作品展、音楽やダンスのステージ発表などが行われます。この機会に、年齢、国籍、障害の有無などに関わらず、多くの方に障害のある方々の芸術作品の魅力に触れ、一緒に楽しんでいただきたいと思います。厚生労働省では、全国各地の障害者芸術・文化イベントを、本大会の「サテライト事業」として位置づけ、本大会の出展作品をこれらのイベントでも展示するなど、連携・連動を図っています。こうした取組を通じて、全国的に障害のある方の芸術・文化活動を盛り上げるとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、機運醸成を図ってまいります。

結びに、開催に当たり格別の御尽力をいただきました大分県、開催市町村、芸術文化団体をはじめ、関係する多くの皆様に深く感謝申し上げます。



ご挨拶

第33回国民文化祭大分県実行委員会 会長
第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 会長
大分県知事

広瀬 勝貞

「第33回国民文化祭・おおいた2018」「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」の「太鼓の祭典」が、ここ大分市で盛大に開催されることを心からお喜び申し上げます。

本県にとって、国民文化祭の開催は20年ぶり2回目となります。前回の大会は、大分県の芸術・文化に取り組む人々に大きな刺激となり、大会終了後も様々に根付き大きく育ってきました。近年では県内各地域で新しいアートの取組が活発になるとともに、平成27年には、これらの取組の発信拠点として大分県立美術館がオープンするなど、大分の芸術文化は新たなステージを迎えています。

そうした中開催される今回の大会では、伝統文化と現代アート、和の芸術と洋の芸術など、異なる分野の芸術文化の出会いが、新たな輝きや次なる展開を生み出すことを期待しています。

さらに今回は、障がいのある方もない方もともに楽しむことができるよう全国障害者芸術・文化祭を同時に開催します。障がい者の皆様にも芸術文化活動を通じて存分に自己表現していただき、またそこに光をあててそのすばらしさを知っていただき、自立と社会参加を促進する機会とします。

今回の国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭では、街中が芸術文化であふれ、交流と出会いがたくさん生まれることを期待していますから、県内の全市町村が参加し、各地の皆様楽しんでいただくことにしています。そして、子どもからお年寄りまで、障がいのある方もない方も、県民の誰もが参加し、楽しむ県民総参加のお祭りを目指します。

大会テーマ「おおいた大茶会」は、芸術文化の魅力を誰もが楽しめるよう、「人を招き、もてなし、ともに楽しむ」ことをイメージしたものです。このテーマの下、51日間の期間中、県内全市町村で、各地域の芸術文化の力を結集した160に及ぶ事業が実施されます。ぜひとも多くの方に参加し、楽しんでいただきたいと思います。

結びに、本県での開催に格別のご支援とご協力をいただきました関係の皆様から感謝申し上げます、挨拶とします。

太鼓の祭典



ご挨拶

第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・
文化祭大分市実行委員会 会長
大分市長

佐藤 樹 一 郎

本日、多くの皆様方をお迎えし、「第33回国民文化祭・おおいた2018」「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」の大分市実行委員会主催事業「太鼓の祭典」を開催できますことを大変喜ばしく存じます。全国各地からお越しいただきました皆様を、48万市民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本公演の開催に多大なるご尽力を賜りました公益財団法人日本太鼓財団をはじめ、関係者の皆様方には、深く敬意を表しますとともに心から感謝申し上げます。

ここ大分市は、緑豊かな山々と青い海や川に恵まれており、古代から東九州の要衝として栄えてきました。特に中世・戦国時代には、西洋の音楽、演劇などの南蛮文化がいち早く花開き、日本を代表する国際色豊かな貿易都市として繁栄した歴史を有しています。

本文化祭においては、本市の「南蛮文化発祥都市」としての歴史・文化の特色を活かし、また本市の地域テーマが、別府市、由布市とともに「出会いの場」とされていることも踏まえ、各事業を展開してまいります。

本日は、「豊後に集い 明日への鼓動」をサブテーマに、日本一のおんせん県おおいたに育った太鼓の躍動と日本各地の勇壮な太鼓の響演をご覧ください。ご来場の皆様方には、「和太鼓」の迫力と魅力を体感していただき、その響きを心ゆくまでお楽しみください。

また、大分市にお越しいただきましたこの機会に、中心市街地で展開していますリーディング事業「回遊劇場～ひらく・であう・めぐる～」をはじめ、「高崎山自然動物園」などの観光スポット、さらには「関あじ・関さば」をはじめとするおいしい食など、大分の魅力をご堪能いただければ幸いです。

結びに、本文化祭が皆様方にとりまして文化・芸術の新たな魅力、さらには本市の多彩な魅力との「出会い」の機会となりますことを念願するとともに、本公演にご参加いただきました皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、あいさつとします。



ご挨拶

公益財団法人 日本太鼓財団
会 長

松 本 英 昭

このたびの「平成30年7月豪雨」ならびに「平成30年北海道胆振東部地震」災害により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

第33回国民文化祭・おおいた2018「太鼓の祭典」が、ここ大分市において盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

日本の太鼓は、太鼓に向かう真摯な態度や団体演奏に必要なチームワークの大切さから「礼と節」が備わることが評価され、青少年の健全育成に大きな効果をあげております。更に全身を使った演奏は体力づくりとして、また太鼓のリズムは生活のリズムを養うものとして注目されており、健常者のみならず障害者の太鼓グループも増加しております。

太鼓愛好者は、幼年の子供から高齢者まで年齢層が幅広く、最近では女性の参加も多く、まさに老若男女を問わず広がっております。

日本人の心に定着する太鼓は「日本の心」を伝えるものとして海外でも高く評価され、大きな関心が寄せられております。当財団ではこれまで40ヶ国を超える国で公演を行っております。また当財団が主催する18歳以下の子供によるジュニアコンクールは、ブラジル・台湾・アルゼンチンのチームも参加する国際的な大会であり、国内外の注目を浴びております。

このように日本太鼓の人气が国内外で高まる中、全国並びに海外からは台湾の太鼓団体が一堂に会し「太鼓の祭典」が開催されることは誠に時宜を得たものであります。

来場されたお客様に、太鼓演奏、ワークショップを楽しんでいただくとともに、今後の太鼓の普及・振興に一層貢献するものと期待をいたしております。

本大会の開催にあたり、ご支援ご協力いただきました文化庁、厚生労働省、大分県、大分県教育委員会、大分市、大分市教育委員会、第33回国民文化祭大分県実行委員会・第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第33回国民文化祭・第18回全国障害者芸術・文化祭大分市実行委員会、そして当財団に多大なご支援をいただいております日本財団並びにポートルース関係者、細部にわたりお世話いただきます、全九州太鼓連合、日本太鼓財団大分県支部、大分県太鼓連合の皆様にご心からお礼を申し上げます。

太鼓の祭典



ご挨拶

全九州太鼓連合
名誉会長

長谷川 義

今年、「第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」が大分県で開催されますことは、九州7県の支部長共々大変喜ばしく、光栄に存じます。

また、公益財団法人日本太鼓財団が、J:COM ホルトホール大分を会場に、全国各地から更には、台湾の太鼓チームまで集めて下さり「太鼓の祭典」が盛大に開催できますことに、主管団体であります全九州太鼓連合を代表いたしまして感謝申し上げます。

九州は、全国に先がけて7県の支部が一つのブロックとなり、全九州太鼓連合として多くの事業を実施しております。九州各地において、全国フェスティバル、全国講習会、支部講習会等の事業を開催したことにより、会員の意識向上にも繋がり、今ではどのような事業にも対応できる組織にまで成長いたしました。

会場の選定や、太鼓の確保に至るまで、各県から担当者が集まって受け入れ体制を検討しながら準備をいたしました。全九州太鼓連合加盟の会員にとっても、全国組織である公益財団法人日本太鼓財団の事業に直接触れ合うことの出来る大変良い機会であります。

今回は、オープニングを飾る大分県太鼓連合同チーム、台湾含め全国各地より27団体、ゲストとして5団体全33団体が一堂に会し、それぞれの地域の特色、修練を積んだ日本太鼓の技を披露するとともに、交流の輪を広げることができる大会になると思います。ご来場の観客の皆様には、日本各地で活躍する奏者の熱意のこもった演奏に対し、惜しみのないご声援と拍手をお送りいただき、より素晴らしい大会となるようにご助力をお願いできれば幸いです。

最後に、本日の開催にあたりご支援ご協力を頂きました多くの関係団体の皆様、心よりお礼申し上げます。

また、遠く九州の地にご参集いただき出演を頂く皆様方に感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

日本太鼓財団大分県支部
支部長

野 依 修 視

本日は、「第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」が大分県にて開催できますことは大変喜ばしく、皆様のご来場を心より歓迎申し上げます。全国各県持ち回りで毎年開催される国民文化祭は、本県では2度目、20年振りとなります。その一環で開催される「太鼓の祭典」が、かくも盛大に本日を迎え、全国、または海外から多くの太鼓仲間が集まって頂けますことは、日本財団、公益財団法人日本太鼓財団のご支援及び、全九州太鼓連合の格段のご協力であり、開催県支部一同、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

近年では、古くから伝わる伝統的な太鼓に加え、新しい創作的な太鼓も数多く誕生し、子どもから高齢者だけでなく、障がい者の方々にも広がりを見せています。また、本日参加いただいております台湾のみならず、海外での太鼓人口は、増加中です。

本日は、台湾含め全国各地で活動する日本太鼓の実力派チームが一堂に会し、「太鼓の祭典」と銘打って、各地域で育まれた特色ある伝統・創作太鼓の打芸を披露して、身近でご覧いただける希有な機会であります。ご来場頂きました皆様方には、日本太鼓の魅力を思う存分に感じて頂きたいと存じます。

最後になりましたが、開催にあたりご支援、ご協力いただきました文化庁、厚生労働省、大分県、大分市、日本財団など多くの関係団体、運営に携わっていただいたスタッフの皆様にご心より感謝申し上げますとともに、ご来場の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

太鼓の祭典

第33回国民文化祭・おおいた2018
第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会

「太鼓の祭典」
プログラム

33rd National Cultural Festival Oita 2018 “Taiko Festival”
18th National Disability Arts and Culture Festival Oita Tournament

[オープニング] ～大分県太鼓連合同チーム～
[主催者挨拶] 大分県知事 広瀬 勝貞
[主催者挨拶] 大分市長 佐藤 樹一郎
[主催者挨拶] 公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

第一部 10:40

- | | | |
|--|-----------|----|
| 1. 人吉ねぶか太鼓
Hitoyoshi Nebuka Taiko from Kumamoto | 熊本県 …………… | 11 |
| 2. 浜脇子ども太鼓
Hamawaki Children Taiko Team from Oita | 大分県 …………… | 12 |
| 3. 逢鷺太鼓連
Oshu Taikoren from Tottori | 鳥取県 …………… | 12 |
| 4. 龍潮太鼓 鼓衆
Ryucho Taiko Kosyu from Miyazaki | 宮崎県 …………… | 13 |
| 5. 風天太鼓保存会
Futen Taiko from Saga | 佐賀県 …………… | 13 |
| 6. 大治太鼓保存会
Oharu Taiko from Aichi | 愛知県 …………… | 14 |
| 7. 豊後みさき太鼓
Bungo Misaki Taiko from Oita | 大分県 …………… | 14 |
| 8. 城南火の君太鼓
Jonan Hinokimi Taiko from Kumamoto | 熊本県 …………… | 15 |
| 9. 打吹童子ばやし
Utsubuki Doji Hayashi from Tottori | 鳥取県 …………… | 15 |

10.	和太鼓一座 天響 Wadaiko Ichi-za Tenkyo from Miyazaki	宮崎県 ……………	16
11.	九州 音鼓組 Kyusyu Otoko-kumi from Nagasaki	長崎県 ……………	16
12.	會津田島太鼓保存会 Aizu Tajima Taiko from Fukushima	福島県 ……………	17
13.	銭太鼓 高杉会 Zeni Taiko Takasugi-kai from Hiroshima	広島県 ……………	17
14.	和太鼓 大元組 Wadaiko Daigen-kumi from Tokyo	東京都 ……………	18
15.	火の神乙女太鼓 爽 Hinokami Otome Taiko “So” from Kagoshima	鹿児島県 ……………	18

第二部 14：00

16.	台湾源流打々（台湾太鼓協会合同チーム） Taiwan Taiko Association Joint Team from Taiwan	台湾 ……………	19
17.	吾北清流太鼓一番風 Gohoku Seiryu Taiko Ichiban-kaze from Kochi	高知県 ……………	19
18.	倉吉打吹太鼓奏者の会 Kurayoshi Utsubuki Taiko Sosya-no-kai from Tottori	鳥取県 ……………	20
19.	大和太鼓保存会 Yamato Taiko from Saga	佐賀県 ……………	20
20.	広島文教女子大学和太鼓部「文教太鼓 仁」 Hiroshima Bunkyo Women's University Taiko Club “Bunkyo Taiko Jin” from Hiroshima	広島県 ……………	21
21.	下関市消防団 海峡まとい太鼓 Shimonoseki-city Volunteer Fire Corps “Kaikyo Matoi Taiko” from Yamaguchi	山口県 ……………	21
22.	和太鼓集団 野武士 Nobushi from Fukuoka	福岡県 ……………	22
23.	Japanese Drum 和☆Rock Jr. 奏 Japanese Drum Wa ☆Rock Junior Team “Kanade” from Hiroshima	広島県 ……………	22
24.	天孫降臨霧島九面太鼓保存会 Tenson Korin Kirishima Kumen Taiko from Kagoshima	鹿児島県 ……………	23

太鼓の祭典

25.	和太鼓会 和光太鼓 Wako Taiko from Tokyo	東京都 ……………	23
26.	社会福祉法人 大分県社会福祉事業団 大分県糸口学園 糸口太鼓 Itoguchi Taiko from Oita	大分県 ……………	24
27.	橘太鼓「響座」 Tachibana Taiko “Hibikiza” from Miyazaki	宮崎県 ……………	24
————— ゲスト団体 —————			
28.	三代目源流少年隊 Third-Generation Genryu Shonen-tai from Oita	大分県 ……………	25
29.	新潟万代太鼓振興会 Niigata Bandai Taiko from Niigata	新潟県 ……………	25
30.	倉敷天領太鼓 Kurashiki Tenryo Taiko from Okayama	岡山県 ……………	26
31.	御陣乗太鼓保存会 Gojinjo Taiko from Ishikawa	石川県 ……………	26
32.	豊の国ゆふいん源流太鼓 Yufuin Genryu Taiko from Oita	大分県 ……………	27

<太鼓体験コーナー>

場 所 …………… 舞台上

時 間 …………… 13：25頃～14：00頃

(第1部終了後の休憩時間)

日本太鼓財団大分県支部

ご来場のお客様へ

- ◎会場内では、安全を優先するため、スタッフの指示に従ってください。
- ◎演奏中の客席への出入りは、ご配慮ください。スタッフの指示に従ってください。
- ◎演奏中の客席での会話は、周りの方のご迷惑になりますのでご遠慮ください。
- ◎客席は、照明が暗くなっておりますので、移動の際はお気を付けください。
- ◎客席では、写真撮影や動画撮影はできませんのでご配慮をお願いします。
- ◎携帯電話につきましては、マナー設定へのご配慮をお願いします。
- ◎客席での飲食はできません。
- ◎貴重品等は、ご自分でしっかりと管理してください。

おお いた けん たい こ れん ごう ごう どう
大分県太鼓連合同チーム 大分県



演奏曲
 だい ち ひびき
大地の響

- 院内童龍太鼓
- 院内龍神太鼓
- 大分県糸口学園 糸口太鼓
- 鼓風舎
- 由布はさま太鼓
- ZENKAI 太鼓「和」
- 天神太鼓
- 豊の国ゆふいん源流太鼓
- 豊前乃國本耶馬溪禪海太鼓
- 豊後みさき太鼓
- ゆふいん源流少年隊
- 立命館アジア太平洋大学和太鼓“楽”

県内各地で伝統芸能、民俗芸能としてそれぞれ独自の演奏・継承活動をしていた太鼓仲間に、平成6年6月、豊の国ゆふいん源流太鼓代表 長谷川義氏（現公益財団法人日本太鼓財団副会長）が呼びかけて集結し、日本太鼓の普及向上と相互の親睦、青少年健全育成を目的に、「大分県太鼓連合」を設立。その後、公益財団法人日本太鼓財団設立と同時に大分県支部を設立し、加盟。

現在、支部事業として、毎年夏に開催している和太鼓サマースクール、毎年秋開催の日本太鼓ジュニアコンクール大分県大会・大分県太鼓連合コンサート等を軸に、公益財団法人日本太鼓財団や全九州太鼓連合の支援を受けながら、和太鼓文化の保存・伝承に努めています。

大分県では、2度目の国民文化祭「太鼓の祭典」の開催となります。長谷川義氏の創作・指導による、「大地の響」を所属団体の枠を超えて打ち手全員の思いを一つにして合同演奏します。

ひと よし だい こ
1 人吉ねぶか太鼓

熊本県



演奏曲
 ひ ご ものがたり
肥後物語

- 代表者：渡辺 孝昭
- 浅尾るみ子／椎葉 美紀
 - 椎葉 有生／村上 乃杏
 - 大戸 愛／吉鶴 萌花
 - 椎葉 春哉／新門 大空
 - 椎葉 美風／山下ふみか
 - 山下みのり／野尻 里奈
 - 漆坂 美和／葎 絆生
 - 新門 泰斗／椎葉 一夫

私達は人吉ねぶか太鼓です。創作太鼓であります。昭和62年に郷土の為に何かお手伝いできないかと思い、その当時の有志達と結成いたしました。

今年で33年を迎えます。その間郷土の皆様方の温かいご厚情、ご支援を賜わり、メンバーも卒業者100有余名となり、日々精進しております。

礼節を守り、太鼓道を追及している中で今回の国民文化祭の出場の機会を得た事感謝いたしております。

一打一打に思いを込めて演奏したいと思います。

2 はま わき こ だい こ 浜脇子ども太鼓

大分県



演奏曲

はま わき はんじょうだい こ
浜脇繁盛太鼓

代表者：松岡 千津子

上田 純白 / 上田 青空
上田 健志朗 / 松岡 眞広
松田 眞羽音 / 山本 來稚
上田 杏 / 上田 花梨
吉野 悠 / 後藤 璃菜

和太鼓を通じて、異年齢の子どもたちの交流を深めていくこと、規律、礼儀正しく、いたわりの心を育てていくことを目的に、昭和53年7月に設立。以来、上の子が下の子を見ながら、浜脇地区に古くから継承される八幡太鼓と繁盛太鼓を伝承してきました。

活動内容としましては、朝見神社の初打ち、浜脇薬師祭り、浜脇秋葉神社奉納太鼓など市内の祭への参加や神社での初打ち、学校のバザー、老人ホームの慰問など、別府市を中心に近郊地域で幅広く活動しています。

現在、小学1年生から中学3年生の子どもで構成され、和太鼓・竹・カネでの演奏2曲を習得しています。

3 おう しゅう たい こ れん 逢鷺太鼓連

鳥取県



演奏曲

た ろ き ち るてんかいき
ta・ro・ki・chi ~流転回帰~

代表者：三澤 立

久野 壮 / 田中 武
伊藤 浩二 / 細谷 慶介
山本 夕貴 / 小倉 慎一
八田 恵美 / 細川 輝幸
池澤 慶昌 / 近藤 祥
石崎 亮治 / 黒田 貴正
山本菜津子
アンドレーコヴィッツ・マリ

昭和62年12月、鳥取市気高町逢坂地区の若者が集まり、新しい和太鼓集団を結成しました。逢坂地区の「逢」の文字とその南にそびえ立つ鷺峰山の「鷺」の一字を取り、「逢鷺太鼓」と命名しました。

設立当時、宝塚歌劇団指導者の熱心な指導を受けながら、逢坂地区の風土にマッチしたオリジナル曲をもって、昭和63年、兵庫県姫路市で開催された、「第3回国民文化祭全国太鼓まつり」に出演、依頼、県内外の催し、イベントへ積極的に参加していきます。

私たちは、和太鼓の勇壮さと躍動感、リズムカルなバチさばきで、故郷や人や生き物を愛する気持ちを心と体の全身を使って表現しています。

本年度で活動を初めて早32年となります。現在、演奏活動をしているメンバーは約20名。仕事や思考も多種多様で非常に個性豊かなメンバーの集まりです。

週2回の定期的な練習や、地域の祭など多数のイベント出演で心意気ピットリの元気あふれる和太鼓を愛する集団となっています。

4 ^{りゅう ちょう だい こ こ しゅう} 龍潮太鼓 鼓衆

宮崎県



演奏曲

^{む そう げん} 無双 / GEN

代表者：上杉 春明

峯田 英幸 / 山本 珠華
 山本 征也 / 山崎 温紀
 松岡 愛華 / 高橋 陸人
 一瀬 陽菜 / 松岡 蓮桜

山間に響く鼓動 日向灘の荒波 大空に響きわたる音魂 和太鼓の鼓魂を天地に響かせる。
 我々龍潮太鼓は、自然と風土、日向灘の四季をイメージし数々の曲を創作しています。
 太鼓に向かい合った当初、目標にしていた「限界の和太鼓」その和太鼓魂を持ちつづけ、演奏活動に邁進し、皆様に親しまれる太鼓を目指しています。

『太鼓衆は、荒波の音と一体になりこの地より大海原へと打ち鳴らす』

5 ^{ふう てん だい こ ほ ぞん かい} 風天太鼓保存会

佐賀県



演奏曲

^{かぜ かみさま かぜ} 風の神様のおんなさる / 風あそび

代表者：山崎 かおり

古賀富美子 / 木ノ上光子
 奈須 隆子 / 高柳亜紀子
 二宮 千鶴 / 高柳 光
 水田 杏里 / 緒方 秀真
 原 朱嶺 / 亀山 優花
 亀山 隆太 / 板山 姫果
 竹尾 翼 / 高柳 心

佐賀県みやき町に在る、風の神様を祀る「風天山」より名前を頂き「風天太鼓保存会」を結成しました。
 今年で18年目を迎え、地元みやき町を始め周辺地域での祭り事やイベント等で演奏活動を行っています。
 ジュニアチーム雅風童は、毎年開催されるジュニアコンクールで年々成績を上げ、佐賀県大会で準優勝を果たし、九州大会、全国大会へと出場できるまでに成長しました。
 これから受け継いでいく子供たちと共に、日本の伝統芸能和太鼓の響きを多くの人々に伝え、心から感動して頂けるよう、技術だけではなく礼節を重んじ日々精進して行きたいと思っています。

6 おお はる たい こ ほ ぞん かい
大治太鼓保存会

愛知県



演奏曲
やかたかぐら しんぐるま しゅんしゅん
屋形神楽 / 神来舞 / 駿々

代表者：若山 善之
出演者 12 名

江戸時代より尾張地方の農村地帯では、祭礼時に五穀豊穡と住民の安全を願い、太鼓を打ち鳴らす風習がありました。戦争・伊勢湾台風等によって一時途絶えたものの、町内各字では細々と神楽太鼓が伝承されていました。その後、昭和56年大治町の郷土民俗芸能として普及、保存を図るため太鼓教室を開催。そして、ふるさと創生事業の一環として町独自の芸能を育成する気運が高まり、平成3年にふるさとづくり実行委員会より、大治町のオリジナル曲の創作を「小林正道」氏に依頼。「尾張の風まつり」が完成しました。この翌年9月に「大治太鼓保存会」として発足し、現在約140名で尾張の伝統芸能保存と和太鼓技術向上の為、日々稽古に励んでいます。

7 ぶん ご たい こ
豊後みさき太鼓

大分県



演奏曲
おに
鬼やらい

代表者：板井 俊作
児玉 則夫 / 木藤 信一
早尻 真一 / 水之江隼人
板井 竜児 / 国広 和将
大力 成也

豊後みさき太鼓は、平成元年ふるさと創生事業の一環として、新しい芸能文化の創造、地域の活性化を目指し結成されました。地域はもとより、県内外でのイベント等積極的に参加しています。また、海外公演の経験もあります。本日の演目は、「鬼やらい」と言う曲です。「鬼やらい」とは、豊後高田市香々地の夷の里に、古くから伝わる夷里神楽をアレンジして作った曲です。奥深い笛の音、太鼓の妙味を生かした豊後みさき太鼓の代表曲です。

8 じょう なん ひ きみ たい こ
城南尖の君太鼓

熊本県



演奏曲

きらめき れつ
煌 / 烈

代表者：鬼塚 栄男

住本 祐樹 / 金丸 幸龍
住本 茉紀 / 鬼塚 花帆
鬼塚 真帆 / 林 亮伍
大山 愛歩 / 小島 夕奈
田中 詩乃 / 久原 美薫
林 桐生 / 中澤 玖美
友田 和来 / 伊津野愛香
田中 琴乃

1993年「祭りに太鼓の音が欲しい」と有志が集まり結成した、熊本市を中心に活動する和太鼓集団。

大人から子供まで約30名の会員が所属。

曲作りから演出までメンバー自身が行い、太鼓のみならず、篠笛・唄・踊りを交えた「火の君太鼓らしい」舞台創りを心がけています。

これまでプロとの共演や熊本城築城400年祭創作劇「汝こそは昭君」の出演、過去5回の海外公演（ドイツ・ブラジル公演）など、様々な経験を通し、より自由に、独自の太鼓表現を目指しています。

9 うつ ぶき どう じ
打吹童子ばやし

鳥取県



演奏曲

こ だま く み きょく
鼓魂組曲

代表者：村田 速実

藤井 美柚 / 岸下 莉音
田中 昌平 / 磯江 謙信
福江 桐生 / 恩田優珠羽
伊藤 愛恵 / 澤村 颯
福田 優月 / 松本 藍子
山根 夢来 / 澤村 若菜
安田 拓真 / 石川 琳子
井上 心日 / 恩田 碧夢
松本ももこ / 森田 楓花
澤村 楓 / 澤村 日菜

天女は子の幸せを祈り、子は母を想い太鼓と笛を打ち吹き鳴らす。

古くから打吹山を仰ぎ、城下町として栄えた倉吉。このふるさとに伝わる天女と童子の物語を「打吹童子ばやし」という形にして、子ども達の打つ吹く太鼓と笛の音で伝えていこうと、1992年7月に誕生しました。以来、地元倉吉はもとより県内外のたくさんのイベントで演奏しています。

倉吉の夏祭り「打吹まつり」では、太鼓を乗せた山車を巡行し、「ワッショイ！」と祭りの初日を盛り上げています。団員は小学1年生から6年生で31名が所属し、毎週水曜日の夕方に練習をしています。オリジナル曲は14曲あります。毎年3月には自主演奏会をしています。

今日は、打吹童子ばやしの代表曲を組曲にして演奏します。どうぞお楽しみください。

わ だい こ いち ざ てん きょう
10 和太鼓一座 天響

宮崎県



演奏曲

ひとすじ ゆうらく てんへのひびき
一筋 / 友楽 / 天之響

代表者：池田 靖洋

貴島 康弘 / 吉田 考寿
 森尾 守 / 金丸 亨里
 田畑 涼子 / 吉田 司
 貴島 亜美 / 長友 寧々
 石田 卓也 / 野村 将司

我々和太鼓一座天響は、平成14年結成。

我々の信念は礼儀無き者太鼓を叩く資格なしという心構えで大人、子供関係なく太鼓に打ち込みチーム一丸となり、現在メンバー21名により、県内外にて活動しております。

我々和太鼓一座天響は人の心に響きを与え、天まで響けという気持ちで聞かせる太鼓だけではなく、目で見ても楽しみ、皆様方と一体となり楽しめる太鼓を叩ける様、日々厳しい練習に励んでいます。

きゅう しゅう おと こ ぐみ
11 九州音鼓組

長崎県



演奏曲

たたら / 五士気

代表者：田中 俊亮

松尾 和也 / 脇坂 和紀
 樋口 洗樹 / 木下 宏海
 長與 陽孝 / 高増 暖人

長崎県は大村市を拠点に、代表 たなかしゆんすけ 田中俊亮を中心とし活動する7人組和太鼓チーム。

九州は肥国の地。

そこに集う者あり…。音を求め…鼓を求め…。大地を震わす為に打ち、心を震わす為に打つ。己の技を磨く者…ここに集結。九州音鼓組…いざ打ち鳴らさん！

あい づ た じ ま たい こ ほ ぞん かい
12 會津田島太鼓保存会

福島県



演奏曲

ざんぎ

代表者：大橋 通

渡部 龍大／渡部 晃大
 星 和／阿久津 怜音
 佐藤 駿／湯田 隼平
 小泉 龍一郎／弓田 望翔
 稲川 桃佳／大竹 春歌
 平野 彩／大竹 楓歌
 阿久津 桜花／橋本 瑞玲
 弓田 優来／佐藤 惠美
 渡部 麻衣／阿久津 裕子

會津田島太鼓保存会は、田島太鼓 龍巳会を前身団体とし、福島県南会津町で活動しています。メンバーは小学生～高校生を主として構成され、応援して下さるたくさんの方々によって現在12年目を迎えます。

合言葉は「全打入魂」。地元の伝承や神話を元にした、物語のようなドラマチックな曲を創作・演奏し、地域活性・風評払拭を目標に全国各地、海外でも「南会津の音」を響かせています。福島県の元気を発信し、「心を打つ太鼓」を響かせようと、年々進化を遂げる子ども達を、どうぞよろしくお願い致します。

ぜに たい こ たか すぎ かい
13 銭太鼓 高杉会

広島県



演奏曲

かい ぞく
アジアの海賊

代表者：舩田 昌文

有田 雅俊／福田 博明
 前田 福秀／中藤 博文
 新川 誠司／天野 英樹
 藤田 真悟／見土 唯
 丸田 竜士／平木 亜優
 有田 実穂／山下 栄子
 有田 千津江／伊藤 理知子
 藤田 幸美／山元 美佐子
 有田 恵美子／和田 加津子
 今井 輝美／末国 博子

私たち『銭太鼓高杉会』は、幕末の長州藩士『高杉晋作ゆかりの地』である広島県三次市で誕生して今年37年目の活動になります。

銭太鼓は、日本の民族芸能楽器の一種で、銭の触れ合う音を利用し、リズム楽器として踊りの伴奏に使用され、山陰を中心に安来節の余技として演奏されております。

私たちは、この銭太鼓演奏を通して、持ち味である躍動感あふれるダイナミックな振り付けで、地域のイベントなどに出演し、多くの皆さんに喜びと感動を与えられるような演奏をめざして活動しております。

けんみん文化祭にも数多く出演し、これまで数々の賞を受賞しました。

現在、男性11名、女性10名の計21名の会員で構成しています。

更なる技の向上をめざし、リズムだけでなく、心を合わせて銭太鼓を打つこと、躍動的な動きや表情豊かに表現するなど、より高い目標を持って練習に励んでおります。

わ だい こ だい げん ぐみ
14 和太鼓 大元組

東京都



演奏曲

きらめき

燦

代表者：湯澤 元一

佐々木 彬 / 稲垣 優

伊藤 文子 / 島 大稀

小池 晃大 / 工藤 未来

「和太鼓 大元組」は、大田区の「大」と、この地域を「元」として世界に羽ばたける人材を育成出来るよう2000年に結成されました。国内外問わず、様々なステージにて「和太鼓」のジャンルにとらわれることなく演奏活動を展開するプロ和太鼓チームです。3年前「15周年記念公演」を、大田区アプリコホールにて開催し高い評価を得ております。2010年11月には山本寛齋「寛齋スーパーショー“七人の侍”」有明コロシアムにも参加。テレビ、舞台演劇、セッションライブ等をこなしております。

また、和太鼓の魅力を広く伝えようと、2003年にスタジオを構え邦楽カルチャースクール「studio 邦楽アカデミー」を設立。同スタジオでの各種邦楽講座をはじめ、各種教育機関、また他の和太鼓チームにも和太鼓指導者として赴き、指導団体としても活動も広げております。

ひ かみ おと め たい こ そう
15 火の神乙女太鼓 爽

鹿児島県



演奏曲

ひとたま

たびだ

一魂 / 旅立ち

代表者：平田 寿一

平田 友子 / 平田 理子

桑原 瑛太 / 金倉 華

折田 好 / 竹内 楓

武内 美空 / 萩原 花吏

萩原 李羽 / 下山 奈那

私たち「火の神乙女太鼓 爽」は、平成12年に発足し、ことしで18年目を迎えました。地元「枕崎火の神太鼓保存会」の下部団体として、枕崎の「海・風・祭」をテーマに曲をつくり、「枕崎の良さを、太鼓を通して表現し、広く全国に知っていただく。」という思いで活動を続けています。練習では、太鼓を打つ技術だけではなく、「礼儀」や「思いやりの心」など、人として大切なことも一緒に学んでいます。学校を卒業し、社会人となった時に、しっかりと通用するような人になれるよう、これからも太鼓を通して精進していきたいと思えます。

16 ^{たい わん げん りゅう だ だ} 台湾源流打々 ^{たい わん たい こきょうかい ごとう} (台湾太鼓協会合同チーム) 台湾



演奏曲 ^{たい わん}
フォルモサ台湾

代表者：王 妙涓
 施 宇哲／陳 力愷
 陳 鵬凱／劉 子安
 陳 婉綺／單 婉瑄
 鄭 縈珂／陳 昱慈
 許 書璋／陳 苡肇
 廖 言豪

2007年の創立から11年目を迎える台湾太鼓協会。塩見理事長はじめ、財団の皆様大変お世話になっております。創立当初より副会長である長谷川義先生には、熱心にご指導いただいております。現在、26団体約2800会員が太鼓を響かせる。太鼓を通じて日本と台湾の交流が盛んに行われています。協会では現在も日本太鼓を台湾の中で広めております。

先日はこれまでの活動実績が認められ、日本の外務省より外務大臣賞を頂きました。これからも引き続き活動を行い、国際的に発信していきたいと考えております。

昨年十周年の期にジュニアを卒業した方を中心に選抜して台湾打々を結成しました。台湾代表として活動し始め、11名の代表が国民文化祭に出演させて頂きます。演奏曲は、長谷川義先生が作曲された「フォルモサ台湾」です。`和太鼓`という日本文化を通して、日台の友好を深めたいと願いながら魂を込めて演奏します。

17 ^{ご ぼく せい りゅう たい こ いち ばん かぜ} 吾北猜流太鼓一番風 高知県



演奏曲 ^{らい きょう}
クラウド / 雷響

代表者：曾我部 旭
 山崎 充／藤原 史
 曾我部 恵／中岡 歩美
 宗我部 茜／中岡 大地
 筒井 祐吏

高知県吾川郡吾北村の若者8名で構成された一番風は4才から太鼓を打ち続けているリーダーの曾我部旭の呼びかけで、2003年に発足しました。2005年・2007年、東京国際和太鼓コンテスト本選出場、2007年12月、京都にて行われました。皇室秋篠宮悠仁親王殿下ご誕生祝賀会での演奏も務めさせて頂きました。京都・山梨・秋田・鹿児島県で開催された国民文化祭にも出場、2016年10月愛媛県鬼北町で開催された、和太鼓コンテストでは、優秀賞第2位を頂きました。高知県をテーマにした曲作りにも力を入れ、活動の幅を県内だけではなく、県外にも広げています。勇壮な太鼓の音と共に、西へ東へと元気をお届けします。

18 倉吉打吹太鼓奏者の会 鳥取県



演奏曲

ふうだすいりゅう おうらく ふ
風打吹流 邑楽の譜

代表者：内海 洋介

赤崎 彰 / 山根 則子
池田 愛花 / 石川 佳恵
稲垣 裕美 / 小野 進
門脇 宏司 / 高岡 紀子
徳田 雪子 / 仲村 敦司
日置麻衣里 / 山口 隆之
山田 茂樹 / 脇坂 幸司

「太鼓の響きでまちづくり」を合言葉に、倉吉の新しい郷土芸能を創出を目指して1989年に結成されました。和太鼓の第一人者、林英哲師を太鼓の指導、篠笛の指導に竹井誠師を迎え、1年の特訓の後、1990年の初公演以来、年間20数回の公演もありました。県内の小学生～高校生へ芸術宅配便というかたちで、ワークショップも行い、和太鼓の普及にも努力し、地域活性化にも寄与しています。

19 大和太鼓保存会 佐賀県



演奏曲

あらし さと
嵐 / 里

代表者：野方 嘉孝

南里いづみ / 古賀ひかる
山崎勇一郎 / 野田 真琴
松崎 光遥 / 山崎 斉子
多田 聖矢 / 南里 紗希
南里 拓海 / 菊池 輝
上瀧ありさ / 馬渡 沙希
南里 舞 / 立石 みあ

平成元年、大和町街おこし事業の一環として結成される。浮立のように、代々受け継がれる郷土芸能として取り組まれ、地域のまつりごとや色々な行事を中心に活動している。最近では、各地からの出演依頼も増え、県内外はもとより、米国ハワイ州、中国上海市など、海外での活動もある。子供の部に至っては、青少年育成ということもあって地域活動とともにさまざまな和太鼓コンクール等にも積極的に参加している。「太鼓を打つ」は「胸を打つ」をスローガンに日々練習に精進しております。応援の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

ひろしま ぶんきょうじょ し だいがく わ だい こ ぶ ぶんきょうたい こ じん
20 広島文教女子大学和太鼓部 「文教太鼓仁」 広島県



演奏曲
 じん われ い
仁 ~我、生きる~

代表者：石井 宏佳

- | | | | |
|----|-----|----|-----|
| 本多 | 千秋 | 川崎 | 紫央 |
| 小松 | 真実 | 中岡 | 瞳 |
| 吉川 | 綾華 | 森山 | 梨花 |
| 小倉 | 利子 | 小田 | 涼 |
| 落合 | 可那子 | 渡部 | 遥 |
| 白池 | 菜々子 | 森下 | 佐保 |
| 山田 | 鈴夏 | 菅 | 麻祐子 |
| 仲本 | 梨央 | 中野 | 瑠子 |
| 池田 | 泉 | 河村 | 優佳 |
| 山中 | 碧 | 沖中 | 綾及 |
| 田邨 | 真歩 | 美馬 | 春花 |
| 吉村 | 尚子 | 森村 | 小雪 |

私たちは、創部10年目を迎えた広島県内唯一の女子大生だけの和太鼓チームです。チームモットーを「自由に、楽しく、クリエイティブに」と定め、31名の部員で音のみならず、心を重ね合わせた演奏ができることを目指して日々の稽古に取り組んでいます。

平素は、広島県、広島市主催イベント、地元地域や福祉施設のイベントに出演させていただいたり、地元の中学校でも太鼓指導を行って来ました。大学入学後初めて和太鼓を打つメンバーがほとんどですが、時間を有効に活用し、仲間同士で切磋琢磨しながら稽古に励んでいます。その中で生まれた、私たちの太鼓の音の絆と心の絆を感じていただければ嬉しいです。どうぞよろしくお願ひします。

しもの せき し しょう ぼう だん かい きょう だい こ
21 下関市消防団 海峡まどい太鼓 山口県



演奏曲
 だい こ う
まどい太鼓 / あばれ打ち

代表者：楯田 健二

出演者 8名

下関市消防団「海峡まどい」は、平成9年に下関市消防団の活性化推進事業の一環として結成されました。参加するメンバーは市内の各分団に所属する現役の消防団員です。

下関市消防出初式や防災フェアをはじめ各消防関係行事への出演の他、下関市民に広く消防団の現状や今後の方向性等を知って頂くため、市内各地のお祭りや催し物に参加して広報活動に務めているところです。

今年で結成19年目になりますが、これまで上海や釜山での国際公演も含め多くの舞台に立たせて頂き、平成17年には消防庁長官表彰を受けることができました。

今後も精力的にPR活動に邁進し、市民の期待に添えるよう地域防災活動に努める所存です。

それでは燃え盛る火の手に勇猛果敢に活躍する消防団員をイメージした、和太鼓の音と振付をお楽しみください。

わ だ い こ し ゅ う だ ん の ぶ し
22 和太鼓集団 野武士

福岡県



演奏曲

でんこうせっか

電光石火 / サムライ

代表者：川原 邦裕

酒井 和久 / 高倉 憲市

舩井 浩太 / 小宮 祐樹

梶野 純平 / 植田晃太郎

山田 花梨 / 加来 幸一

1998年結成

名前の由来である“野武士”とは、日本の戦国時代に主君を持たぬ独立し自活する武士のことであり、傭兵の如く戦を生業とし、刀や武器を手に常に戦場を求め諸国を放浪した侍のことである。

打賊 野武士も日本の伝統文化「和太鼓音楽」という主君の概念だけにとらわれることなく、独自のスタイルとアイデアを探究し、侍、魂、神仏、戦をテーマに掲げ

斬新かつ大胆に日本古来の打楽器「太鼓」を駆使し“和”の美学を舞台表現している

時を経て、

戦場の野武士から舞台の野武士へ…魂を焼き尽くすまで生き抜く伝説の侍の名は

今宵もまた、刀をバチに変え舞台戦場を駆け巡る。

わ かなで
23 Japanese Drum 和☆Rock Jr. 奏 広島県



演奏曲

はじめ

壺

代表者：荒井 智

中塩 大靖 / 網場 彩音

網場 瑠菜 / 坂根 貫太

河中 蒼空 / 杉森 偉央

杉森 琉夜 / 遠西 拓真

木村 宙斗 / 三浦 未櫻

三浦 健志 / 小足 吏駒

砂賀 宥太

「和☆Rock Jr.」は広島県呉市の和太鼓グループ「Japanese Drum 和☆Rock」の弟分として2010年に結成。「僕も、私も和太鼓がやってみたい」そんな一言から始まった和太鼓チームです。

広島県呉市の、小学1年生から中学3年生までの元気な子ども達が集まり、現在は「奏チーム」と「響チーム」の2グループに分かれ、和☆Rock 指導のもと、月2回稽古を行っています。

オリジナル曲を中心に演奏を行い、しっかりと基礎から取り組み、より理論的で力強く「カッコイイ」表現を目指して、日々稽古に励んでいます。

2017年けんみん文化祭ひろしま17和太鼓フェスティバル子どもの部において、本日出演する「奏チーム」が念願だった最優秀賞を受賞。

今日も心を込めて演奏します。よろしくお願ひします！

24 天孫降臨霧島九面太鼓保存会 鹿児島県



演奏曲

てんそんこうりんきりしまくめんだいこ
天孫降臨霧島九面太鼓

代表者：脇元 勝己

修行兼一郎／森田 真一
脇元まゆみ／蛭川あいら
蛭川真理樹／柳園 良志
水間 末純／上国料史佳
加藤 多彦／三原 大地
橋元真由美／北原 史奈
井料 真未／迫間 愁斗
本田 良樹

鹿児島県の北に位置する霧島は神話「天孫降臨」の地であり霧島山・高千穂の峰がその舞台です。私たち霧島九面太鼓保存会は、昭和47年に発足されこの神話から命名された郷土芸能で霧島神宮の宝物として保存されている九つの面と伝え継がれている「天孫降臨」の神話のもとに国の始まりの荘厳さと勇壮さを太鼓を使って表現する霧島市指定無形文化財の郷土芸能太鼓で、霧島神宮での唯一の奉納太鼓で歳旦祭、紀元祭、御神火祭での奉納演奏を行っております。

いろんなイベントにも積極的に参加し、県内はもとより全国各地にて公演や海外公演での演奏も行っております。現在、NHK大河ドラマ「西郷どん」のオープニング映像に出演。

25 和太鼓会 和光太鼓 東京都



演奏曲

よまつ だいこ
夜祭り太鼓

代表者：田中 泰秀

要害美智子／篠田 美央
中俣 俊宏／大原なつみ
福岡 英子／要害 美紅
小野 桃花／三石 雪瑠

“異体同心”のごとく、打ち手が呼吸を合わせて一打一打に心を込める“粋な梓さばき”を継承したく活動しております。静と動を巧みに活かした演奏は各方面から高い評価を得ております。

地元はもちろんのこと、箱根神社大祭・陸前高田けんか七夕まつりなど、国外ではアメリカ・ヨーロッパ・アジア・中東など各国での演奏も経験させて頂いております。

2020年のオリンピック・パラリンピック以降も見据えた伝統事業であるとして beyond2020プログラムの「伝統文化継承事業」に認められました。

時代の流れに捉われず和太鼓本来の音色を打ち鳴らし、律動を重ね音楽の三要素を目指し“心で打つ”を信条に本物の“太鼓道”を守り歩んでおります。

26 しゃかいふくしほうじん おおいたけんしゃかいふくしじぎょうだん おおいたけんいとちがくえんいとちだいこ
社会福祉法人 大分県社会福祉事業団 大分県糸口学園 糸口太鼓 大分県



演奏曲
ふうじんらいじん きせき
風神雷神 / 軌跡

代表者：加藤 り子

平山 広太 / 新川 竜之助
 塩月 貴晴 / 堀 龍哉
 江本 伊吹 / 首藤 誠人
 渡辺 和樹

『糸口太鼓』は、大分県宇佐市にある大分県社会福祉事業団「大分県糸口学園」の利用者で結成した和太鼓チームです。当園では、運営方針の中の特性を伸ばす支援の一環として、『伸びる芽を育てよう』を合言葉に、文化活動として和太鼓・スポーツ活動として陸上に取り組んでいます。

小学6年生から高校3年生までの計7名という少ないメンバーで支え合いながら日々の練習に励んでいます。

今年度はチーム結成25周年迎えようとしています。多くの方から応援を受けることがメンバーの自信につながり、明日への糧となっています。

演奏する曲目は風神雷神、軌跡です。一打一打に心を込めた力強い演奏をご覧ください。

27 たちばな だい こ ひびき ざ
橘太鼓 「響座」 宮崎県



演奏曲
ひむかわかしゅう
日向若衆

代表者：岩切 邦光

岩切 響一 / 宮原 直樹
 吉野 真吾 / 坂元 亮伍
 田伏 慧多 / 山床 海
 山床 風 / 津郷 良執
 八木隆之介 / 今村 脩哉
 川野 太陽

古来より、日本の音、文化の魂として鳴り響き続けている和太鼓。

今、日向の国の若者たちが故郷宮崎の自然や歴史・文化・人の心を音に託し、力強い鼓動を伝える。

それは、大地に降り注ぐ太陽の音。

それは、青く澄み渡る大海原のつぶやき。

そして、それは彼方に聞こえる古の調べ。

橘太鼓「響座」は、平成の新しい歴史を築き上げようと、日向の鼓動を打ち鳴らす。

さん だい め げん りゅう しょう ねん たい
28 三代目源流少年隊

ゲスト団体
 大分県



演奏曲
 てん ち げんりゅう
天地源流

代表者：城内 三美
 長谷川 凌／阿部 結菜
 嘉手川みなせ／迫 芽吹
 阿南 晴大／藤田 桜
 高森 雄太／本田 真子
 高森 唯

三代目源流少年隊は、2015年文化庁伝統文化親子教室事業の「太鼓教室」として発足しました。由布市無形文化財「豊の国ゆふいん源流太鼓」の指導を受けています。「使わない鉄が錆びるように活動しないことは知性を損なう」を心がけ、人として心を磨くことも日々指導していただいています。

少年隊は、「はい」という素直な心、「ありがとうございます」という感謝の心を忘れず、これからも活動していきます。

三代目源流少年隊は、今年3月25日石川県金沢市で開催された「第20回日本太鼓ジュニアコンクール」（予選参加536団体、5,704名）で、見事優勝に輝きました。

すべての物・事・人に感謝して、本日「天地源流」を打ちます。更なる高見をめざして精進していきます。

にい がた ばん だい だい こ しん こう かい
29 新潟万代太鼓振興会

ゲスト団体
 新潟県



演奏曲
 じんくともえう ひびき そろ う
甚句巴打ち／響／おけさ揃え打ち

代表者：廣川 隆夫
 渡邊 均／東 由喜男
 渡邊 高康／高橋 富也
 豊田 泰基／東 由美
 渡邊 恵／近藤 法子
 渡邊 祭／生瀬 晃央

長江、信濃川が日本海に注ぐ、港町新潟。江戸時代には北前船の寄港地として、幕末には開港五港の一つとして栄え、内外の交流によって独特の文化が育まれてきました。

新潟万代太鼓は、こうした港町文化を背景に、江戸時代からの「湊祭」や近代の「住吉祭」等を統合した「新潟まつり」のシンボルとして創設されました。江戸後期からの盆踊り「新潟甚句」のお囃子、軽快な響きが特徴の樽砵と和太鼓を組合せ、地元民謡を篠笛に取入れた郷土色豊かな曲目が多く、港町と広大な田園風景の越後新潟を唄いあげます。現在は小・中学校、企業等22の団体が幅広く活動し、「新潟市民文化遺産」に認定されています。

参考：「新潟まつり」の起源

延宝8年（1680年）、新潟の廻船問屋「網干屋」が、大阪の住吉神社からご神体を受け、地域住民にも信仰をされるようになり、行列を組むお祭りとなったと伝えられる「湊祭」（明治期に「住吉祭」と改称）。このお祭りを基に、明治以降始まった「川開き」「商工祭」「開港記念祭」を統合し、昭和30年に現在の新潟まつりの原型が完成しました。

くら しき てん りょう だい こ
30 倉敷天領太鼓

ゲスト団体
岡山県



演奏曲

さき おおだい こ
咲 / 大太鼓

代表者：山部 泰嗣

山部 哲誠 / 清水 克彦
藤田 丞 / 藤原 魁
逸見 哲也 / 井深 慎也

1972年（昭和47年）、小山 寛を中心に発足しました。「倉敷から全国へ、そして世界へ」を合言葉に常に太鼓と真摯に向き合っています。

毎年の定期公演やコンサートを始め、学校公演での芸術鑑賞、各種イベント、各地での祭り等、様々な活動を行っており、県内はもとより、県外、また海外公演を含め年間50～60公演を行っています。

倉敷天領太鼓の名前は、倉敷がその昔、江戸幕府直轄の支配地「天領」であり、住民はこの天領であることを誇りとしていたことに由来します。発足する際にこの誇りを胸に地域に根ざした和太鼓団体にし、唯一無二の和太鼓を魅せれる団体にしようと命名しました。

ご じん じょう だい こ ほ ぞん かい
31 御陣乗太鼓保存会

ゲスト団体
石川県



演奏曲

ご じんじょうだい こ
御陣乗太鼓

代表者：北岡 周治

江尻 浩幸 / 中村 孝一
麻窪 光温 / 野口 一幸
槌谷 博之

御陣乗太鼓保存会の名舟町は、輪島塗、朝市で有名な輪島市街地より東に15kmほど海沿いの半農半漁の村です。御陣乗太鼓が一部の者だけのものではなく、名舟町全体のものであることがこの太鼓の特徴でしょう。80戸程の小さな集落ではありますが、夏の太鼓「名舟太鼓」に男衆はすべてのエネルギーを爆発させます。

御陣乗太鼓は、1576年、越後の上杉謙信が奥能登平定のため名舟町に押し寄せて来た時に、攻撃から村を守ったという由来のある太鼓です。村人たちは郷土を守るため、古老の指示に従い、夜陰に乗じて樹の皮の仮面を被り、海藻で作った髪をふりみだし、上杉勢に攻め入りました。上杉勢は思いもよらぬ陣太鼓と奇怪きわまる怪物の夜襲に驚き退散したと伝えられています。これが御陣乗太鼓の起源とされています。

1961年2月輪島市指定文化財に、1963年には石川県無形文化財に指定されました。

とよ くに げん りゅう だい こ ゲスト団体
32 豊の国ゆふいん源流太鼓 大分県



演奏曲
 ゆふ げんきょう こうじょう つき
 由布おろし / 源響 / 荒城の月

代表者：長谷川 義

長谷川 準 / 富永 希一

小出 龍也 / 小出 翔吾

恵藤 良太 / 呂 學韋

ゆふいん源流太鼓の名称は、活動拠点である町の名前にちなんで付けられました。湯布院は、九州にある大分県の中央部に位置し、その町には九州の富士山といわれる由布岳とその裾野には静かな温泉地があります。この地方には、約400年もの長い歴史を持つ独特の太鼓のリズムがあります。今から30年前、リーダー長谷川義を先頭とした太鼓好きの若者達が毎晩由布岳の裾野に集まり、四季折々の自然のなかで練習を始めました。このゆふいん源流太鼓は、湯布院の伝統的な太鼓のリズムをみごとに現代化させたものです。そして、現在では、日本全国の太鼓チームが、この太鼓の基本的なリズムを演奏の中に取り入れています。このチームの演奏技術の素晴らしさは高く評価されています。また、メンバー自身がそのチームワークの良さに誇りを持っています。2007年には、由布市の無形文化財に指定されました。

公益財団法人日本太鼓財団 2018年度の事業活動

■ 第22回日本太鼓チャリティコンサート

期 日：2018年5月31日(木)
場 所：草月ホール(東京都港区)
共 催：一般社団法人日本賢人会議所
出演団体：6団体

■ 第3回大学太鼓フェスティバル

期 日：2018年8月30日(木)
場 所：文京シビックホール 大ホール(東京都文京区)
共 催：大学太鼓フェスティバル実行委員会
出演団体：16団体

■ 第20回日本太鼓全国障害者大会

期 日：2018年10月7日(日)
場 所：文京シビックホール 大ホール(東京都文京区)
共 催：社会福祉法人富岳会
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：31団体

■ 第2回浅草太鼓祭

期 日：2018年11月3日(土・祝)
場 所：隅田公園山谷堀広場(東京都台東区)
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：20団体程度

■ 第15回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2018年11月25日(日)
場 所：白山市松任文化会館(石川県白山市)
主 催：公益財団法人日本太鼓財団、公益社団法人石川県太鼓連盟、
一般財団法人石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会
出場団体：30団体程度

■ 第21回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2019年3月24日(日)
場 所：けんしん郡山文化センター(福島県郡山市)
主 管：東北太鼓連合、日本太鼓財団福島県支部
出場団体：60団体程度

■ 日本太鼓技術普及事業(日本太鼓講習会 & 資格認定事業)

日本太鼓全国講習会

第62回日本太鼓全国講習会 2018年6月2日(土)・3日(日) 群馬県藤岡市
第63回日本太鼓全国講習会 2018年9月22日(土)・23日(日) 愛知県西尾市
第64回日本太鼓全国講習会 2019年2月16日(土)・17日(日) 熊本県宇城市

公益財団法人日本太鼓財団 概要

<設 立 日> 1997年11月11日

<公益財団移行日> 2012年 4月 1日

<資 産> 基本財産 3億円

<加盟支部数> 45支部(41都道府県)

<加盟団体数> 666団体

<会 員 総 数> 19,000人

<役 員> 会 長 松本 英昭 (一社)地方公務員共済組合協議会会長
副会長 長谷川 義 豊の国ゆふいん源流太鼓代表・全九州太鼓連合名誉会長
副会長 高野 右吉 高野右吉と秩父社中代表
理事長 塩見 和子 常 勤
常務理事 大澤 和彦 常 勤
理 事 石井 幹子 (株)石井幹子デザイン事務所代表取締役
理 事 大宅 映子 評論家
理 事 島津 久永 (公財)山階鳥類研究所顧問
理 事 中西 由郎 元(公財)日本ゲートボール連合専務理事
理 事 山内 強嗣 (社福)富岳会理事長

<評 議 員> 評議員 大竹 英雄 (公財)日本棋院顧問(名誉碁聖)
評議員 岡田 知之 (公社)日本吹奏楽指導者協会会長
評議員 河合 睦夫 越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長
評議員 北村 汎 元駐英大使
評議員 佐藤 淳子 (一財)ライフ・プランニング・センター理事
評議員 高島 肇久 (株)海外通信・放送・郵便事業支援機構取締役会長
評議員 濱田麻記子 (株)林原チャンネル代表取締役社長
評議員 古屋 邦夫 御諏訪太鼓保存会会長・長野県支部支部長
評議員 宮崎 義政 銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長
評議員 渡辺 貞夫 音楽家

<監 事> 監 事 長内 健 弁護士 長内法律事務所
監 事 竹村 葉子 弁護士 三宅・今井・池田法律事務所

(敬称略)

今の足跡は未来につながります


日本財団遺贈寄付サポートセンターでは、遺言書により遺産を寄付する「遺贈寄付」に関するだけでなく、人生のしめくりを安心して迎えるための相談について、専門家と連携して無料でサポートします。



資料請求、お問合せはこちらにご連絡ください。

 **0120-331-531**

日本財団 遺贈寄付サポートセンター

検索 



〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目11番2号
Tel (03) 6205-4377 Fax (03) 6205-4378
URL : <http://www.nippon-taiko.or.jp>
E-mail : info@nippon-taiko.or.jp